

カーボンナノチューブの架橋高分子修飾による多機能化と近赤外光セラノスティクスへの展開

永井, 薫子

<https://hdl.handle.net/2324/4784581>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	永井 薫子		
論文名	カーボンナノチューブの架橋高分子修飾による多機能化と近赤外光セラノスティクスへの展開		
論文調査委員	主査	九州大学	教授 藤ヶ谷 剛彦
	副査	九州大学	教授 片山 佳樹
	副査	九州大学	教授 三浦 佳子

論文審査の結果の要旨

本研究は、近赤外セラノスティクスに必要な機能を同一複合体に有するカーボンナノチューブ (CNT) 複合体の作製に向けた機能化の手法および設計指針を提案している。合成した複合体の評価から、高い表面設計自由度をもつCNTミセル重合法の利用が効果的であることを示している。本研究で得られた成果は、近赤外セラノスティクスの実用化のみならず多機能性CNT複合体の創成に貢献する。これらの成果は、化学システム工学上重要な知見を得たものとして価値ある業績と認められる。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。